

## 文化推進委員会からのご意見の反映状況

ご意見	反映状況
	<b>2 文化に親しむ環境づくり</b>
○外国人観光客への対応として文化施設での外国語表記や無料 Wi-Fi 等の設置促進が必要。	(2)文化施設の充実及び活用促進 ・文化施設での外国人に対応した表記や音声ガイド、無料 Wi-Fi 導入、バリアフリー化の推進
○文化芸術のコミュニティの活躍を生み出す場の創出が必要。	・地域における身近な施設の文化活動での活用促進
○企業(社員)が文化活動に参加促進できる仕組みづくりが必要。	(3)事業者による文化活動等の促進 ・企業における社員の文化活動に対する支援制度の充実・促進に向けた啓発
○1か所で山形の情報が全てわかり、様々な場所に行けるような仕組みづくりが必要。	(4)文化情報の収集及び提供・発信 ・関係機関の連携による県内の文化情報の収集、データベース化
	<b>3 文化をはぐくむ人づくり</b>
○県民が自国を知る、地域を知ることが重要。	(1)県民の文化発信力の向上 ・日本遺産に関する講座の開催など県民が郷土の歴史や文化を学び、関心や理解を深めるための取組の推進
○様々な方向から歴史や文化を学ぶ機会が重要。	
○子どもの頃からまちなかや地域で文化芸術やものづくりに触れる機会の充実が必要。	(2)子どもの創造性等の育成 ・地域において文化活動に参加する機会や文化活動を発表する機会の充実
○教育委員会との連携による、小中学生が地域で文化活動に参加できる機会の充実が重要。	
○総合学習や放課後のクラブ活動の活用が重要。	
○子どもの頃から文化施設などを体験しに行く機会をつくる必要がある。	・家族や地域ぐるみで子どもたちが文化施設を見学する取組の推進
○障がい者芸術に関する相談機関について計画に位置づけて欲しい。	(3)高齢者及び障がい者の文化活動の促進 ・やまがた障がい者芸術活動推進センターを拠点とした障がい者の文化活動への支援の推進
○芸術活動を通して障がい者と地域の方が触れ合う機会の創出が必要。	・県内各地での展示会や他県との合同作品展の開催等による障がい者の文化活動発表機会の創出促進 ・ワークショップなど体験型講座の開催による障がいのある人もない人も共に文化を楽しむ機会の創出
○地域文化に一番関心を持っている若い世代が活躍できる機会の創出が重要。	(4)文化の担い手の育成及び確保 ・文化団体、大学、市町村等が連携した文化事業

	の実施を通じた人材の育成
○子どもの頃から地域の伝統芸能等に親しむ環境づくりが必要。	・学校や公民館、コミュニティセンターにおける地域の伝統芸能等の継承活動の促進
○若い人を顕彰し、力のある人を応援し意欲を高めることが重要。	(5) 顕彰 ・若者の文化活動の顕彰の推進
<b>4 文化を活用した社会づくり</b>	
○大人と子どもが一緒になった郷土の伝承文化等の発表の場の創出が必要。	(1) 文化の活用による地域活性化 ・伝統芸能・伝承文化を県民に発表する機会の充実
○企業が県内の文化的な物や地域の資源を活用して商品化、販売する活動の促進。	(2) 文化の活用による経済の活性化 ・文化財をモチーフにした土産品など企業の商品開発の促進
○食文化の海外への発信を強化して欲しい。	・山形の特色ある文化資源（美術館・博物館、華道・茶道などの伝統文化、精神文化、食文化、日本遺産など）等の観光振興への活用促進
○若い世代の求めるもの、心を動かされることを理解する努力をし、発信することが求められる。	(4) 文化に関する情報発信及び交流の促進 ・ホームページやSNS、大規模イベントなど多様な手法による国内外への情報発信の推進
○魅力や美しさが正しく伝わるような情報発信が重要。	
○幅広く迅速な情報収集と効率的・効果的な方法を検討することが必要。SNSも多言語発信が効果的。	
○幅広い世代へのより効果的な情報発信ツールの活用が必要。	
<b>5 推進体制</b>	
○実効性のある計画とするため、取り組みの検証を行う必要がある。	・毎年度評価・検証を行い、次年度以降の施策に反映
○計画を推進していくための市町村等関係機関の連携が必要。	・県民、文化団体、文化関連施設、企業、教育機関、県・市町村などの行政機関の連携・協働による文化の推進

文化団体、経済団体、市町村等からのご意見の反映状況

ご意見	反映状況
<b>1 文化の振興等</b>	
○伝統芸能等の活動の記録・保存の推進が必要。	<b>(2) 伝統芸能等の継承及び発展</b> ・ 伝統芸能等を映像で記録し、保存・継承活動等に活用する取組の推進
○伝統工芸の継承者への支援が必要。	<b>(3) 特色ある文化の継承及び発展</b> ・ 精神文化や伝統工芸、食文化の国内外への情報発信の推進。
○文化財を観光に活用するためには、商工団体の協力を得るなどして磨き上げが必要。	<b>(4) 文化財等の保存及び活用</b> ・ 文化財の公開など活用に向けた環境整備への支援の充実
<b>2 文化に親しむ環境づくり</b>	
○多彩な芸術・文化の鑑賞機会の充実が必要。	<b>(1) 県民の文化に親しむ機会の充実</b> ・ 文化団体等との連携による県民が優れた公演やコンサート、展覧会を鑑賞する機会の充実
○多言語表記や外国人向け対応が必要。	<b>(2) 文化施設の充実及び活用促進</b> ・ 外国人観光客増へ向けた県内文化施設全般にわたる外国語表記や無料W i - F i等の設置。
○地域の身近な施設で文化活動ができることが必要。	・ 地域における身近な施設の文化活動での活用促進
○働いている環境の中で文化活動を意識できることは良いこと。	<b>(3) 事業者による文化活動等の促進</b> ・ 企業における社員の文化活動に対する支援制度の充実・促進に向けた啓発
○若者から高齢者までの幅広い年代へのより効果的な情報発信が必要。	<b>(4) 文化情報の収集及び提供・発信</b> ・ 関係機関の連携による県内の文化情報の収集、データベース化
○1 か所で全ての文化情報みれるサイトの検討が必要。	
○文化財や美術品などの保管方法等の仕組みづくりが必要。	・ 郷土の優れた美術品等を収蔵・保存・展示する仕組みの検討
<b>3 文化をはぐくむ人づくり</b>	
○子どもの頃から山形の素晴らしいもの(歴史や文化)を教えていくことが必要。	<b>(1) 県民の文化発信力の向上</b> ・ 日本遺産に関する講座の開催など県民が郷土の歴史や文化を学び、関心や理解を深めるための取組の推進
○義務教育の頃から地元の歴史・文化・に触れる機会を設け、社会人になっても興味・関心を持てる人材の育成が必要。	
○子どもが文化活動に参加できる機会の充実が	<b>(2) 子どもの創造性等の育成</b>

必要。	・地域において文化活動に参加する機会や文化活動を発表する機会の充実
○伝統工芸の担い手育成のため、地域での普及活動、国内外への発信などをしてもらい生活を支えることが必要。	<b>(4)文化の担い手の育成及び確保</b> ・自治体が若者の担い手を雇用し、地域への文化の普及や国内外へ情報発信を行う取組などの促進
○文化ボランティアガイドの普及が必要。	・文化施設やイベント等で運営や開催を支援するボランティアの育成促進
○展示解説ボランティア等の育成が必要。	
○文化施設の管理運営を行う者の企画等に関する研修の充実が必要。	・山形県総合文化芸術館や置賜文化ホールを活用した文化事業の企画等を行う人材の育成
○積極的に顕彰する仕組みづくりが必要。	<b>(5)顕彰</b>
	・芸術、学術等の分野で本県文化の向上に顕著な功績を挙げた県民の表彰
<b>4 文化を活用した社会づくり</b>	
○外国の文化とどう向き合っていくのかという視点も必要。	<b>(1)文化の活用による地域活性化</b> ・担い手の年齢や性別、国籍、障がいの有無を越えた文化の多様性について県民が理解を深める取組の推進
	<b>(2)文化の活用による経済の活性化</b> ・伝統工芸品の企画展やプロモーションの実施による情報発信の推進
○伝統工芸を首都圏へ情報発信による担い手確保の推進が必要。	
○伝統工芸の継承者への支援が必要。	
○計画を推進していくための市町村等関係機関の連携の必要がある。	<b>5 推進体制</b>
	県民、文化団体、文化関連施設、企業、教育機関、県・市町村などの行政機関の連携・協働による文化の推進